

愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業 実施結果報告書



派遣期間：平成30年8月1日（水）～8月7日（火）

愛知県政策企画局国際課

目次

| | | |
|---|---|----|
| 1 | 派遣者名簿 | 1 |
| 2 | 事前説明会・知事表敬訪問 | 2 |
| 3 | バンコク都派遣 | |
| | 全体行程 | 3 |
| | <1日目(8月1日)> | 4 |
| | 出国 | |
| | サイアムニラミット鑑賞 | |
| | <2日目(8月2日)> | 5 |
| | Wat Phra Kaew (ワット・プラケオ)、Grand Palace (王宮) 視察 | |
| | サイアム博物館視察 | |
| | バンコク都副事務次官表敬訪問 | |
| | <3日目(8月3日)> | 8 |
| | マッタヨム・ワットスッターラーム高校訪問 | |
| | サイアムスクエア散策 | |
| | バンコク都主催ホストファミリー等との夕食会 | |
| | <4日目・5日目(8月4日・5日)> | 12 |
| | ホームステイ | |
| | <6日目(8月6日)> | 16 |
| | ナワミンタラーティラート大学訪問 | |
| | ダイワカセイ・タイランド訪問 | |
| | <7日目(8月7日)> | 17 |
| | 帰国 | |
| 4 | 派遣高校生報告書 | 18 |
| | (参考) | |
| | 「愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業」参加者アンケート | 86 |

1 派遣者名簿

高校生（13名）

| | 学校名 | 氏名 | 学年 | 性別 |
|----|---------|--------------------|----|----|
| 1 | 千種高等学校 | さわだ まゆ 澤田 真優 | 1年 | 女 |
| 2 | 中村高等学校 | やまだ さこ 山田 咲穂 | 2年 | 女 |
| 3 | 瀬戸西高等学校 | すぎもと みのり 杉本 明紀 | 2年 | 女 |
| 4 | 尾北高等学校 | ばんの のりひで 坂野 徳秀 | 3年 | 男 |
| 5 | 一宮西高等学校 | にし くるみ 西 胡桃 | 2年 | 女 |
| 6 | 津島高等学校 | ごとう しゅんすけ 後藤 駿介 | 1年 | 男 |
| 7 | 常滑高等学校 | やまもと ののか 山本 野乃華 | 2年 | 女 |
| 8 | 豊田北高等学校 | こばやし りさ 小林 梨紗 | 1年 | 女 |
| 9 | 西尾高等学校 | つねかわ しゅん 恒川 隼 | 2年 | 男 |
| 10 | 刈谷北高等学校 | さわぐち まや 澤口 茉弥 | 2年 | 女 |
| 11 | 安城東高等学校 | くろだ りんか 黒田 梨華 | 1年 | 女 |
| 12 | 豊橋東高等学校 | つつみ ゆずは 堤 柚葉 | 2年 | 女 |
| 13 | 御津高等学校 | あべ しおり 阿部 汐里 | 2年 | 女 |

引率者（3名）

| | 所属 | 役職 | 氏名 | 性別 |
|----|----------|-----|-------|----|
| 14 | 愛知県政策企画局 | 国際監 | 近藤 雅俊 | 男 |
| 15 | 愛知県国際課 | 主事 | 柴田 佳恵 | 女 |
| 16 | 刈谷北高等学校 | 教諭 | 山口 哲也 | 男 |

2 事前説明会・知事表敬訪問

<事前説明会>

日時：平成30年7月6日（金）14時～16時

場所：愛知県庁第4会議室

内容：自己紹介、渡航概要説明、グループワーク、タイ語勉強会



<知事表敬訪問>

日時：平成30年7月6日（金）16時～16時20分

場所：愛知県公館

内容：自己紹介・抱負、知事挨拶、記念撮影



各高校生は、自己紹介の後、それぞれ渡航の抱負を発表しました。
知事からは、「しっかり文化を体験し、いろいろなものを吸収してきてください。また、バンコクでの同世代との交流を今後の人生に活かしてください。」と激励の言葉がありました。

3 バンコク都派遣

全体行程：平成30年8月1日（水）～8月7日（火）

| 行 程 | | 宿泊 |
|------------|---|------------|
| 8/1 (水) | 08:30 集合（中部国際空港 3F 出発ロビー「案内所」前） 10:30 中部国際空港発（JL737） 14:15 スワンナプーム国際空港着 15:30 サイアムニラミットへ出発 17:00 夕食 19:30 サイアムニラミットのパフォーマンス鑑賞 22:00 ホテルチェックイン | ホテル |
| 8/2 (木) | 09:00 エメラルド寺院と王宮訪問 （バンコク都高校生との交流事業） 11:00 サイアム博物館訪問 12:30 昼食 14:00 バンコク都庁へ出発 15:00 バンコク都副事務次官表敬訪問 17:30 アジアティーク・ザ・リバー・フロント訪問、夕食 | ホテル |
| 8/3 (金) | 08:30 マッタヨム・ワットスッターラーム高校訪問 14:30 サイアムスクエア散策 18:30 歓迎夕食会、ホストファミリーとの面会 20:30 各ホストファミリー宅へ | ホーム ステイ |
| 8/4 (土) | 終日 ホームステイ | ホーム ステイ |
| 8/5 (日) | 終日 ホームステイ（16:00～17:00 ホテル着） 18:00 夕食 | ホテル |
| 8/6 (月) | 08:00 ホテルチェックアウト、発 08:30 ナワミンタラーティラート大学訪問 13:00 大和化成工業タイランド訪問（昼食含む） 18:30 メガ・バンナー散策、夕食 19:30 スワンナプーム国際空港へ移動 | 機中泊 |
| 8/7 (火) | 00:25 スワンナプーム国際空港発（JL738） 08:00 中部国際空港着 解散（中部国際空港 2F 国際線到着ロビー案内所前） | — |

1日目：8月1日（水）

＜中部国際空港からタイへ＞



タイの空港では、バンコク都のご厚意で、VIP 対応をしていただきました。今回の派遣者は、全員タイ訪問は初めて、初めての海外旅行という高校生も半数ほどいましたが、バンコク都の温かいおもてなしで順調なスタートを切ることができました。

＜サイアムニラミット鑑賞＞

時間：17時～21時

場所：サイアムニラミット



サイアムニラミットは、タイの文化を紹介するテーマパークです。ショーを行う劇場の外には、出演者と写真を撮れるコーナーや、象と触れあえるコーナー、タイ各地の村を再現したコーナーもあります。

ショーについては、「劇はとても凄くて終始圧倒されっぱなしでした。」「本当に水が降ってきたので驚きました。装飾されたゾウを実際に見られて嬉しかったです。」等の感想があり、到着直後でしたが十分楽しみました。



2日目：8月2日（木）

<ワット・プラケオ、王宮訪問>

時間：9時～10時30分

場所：ワット・プラケオ、王宮



タイで最も格式の高い寺院であるワット・プラケオと、隣接する王宮を訪問しました。有名なエメラルド仏はもちろん、きらびやかなタイルや精緻な壁画、黄金に輝く仏塔など見どころが満載で、カメラ片手に熱心に見て回りました。

また、4人のタイの高校生・大学生が手伝いに来てくれ、交流を深めました。タイの学生の中には、日本語が話せる学生もおり、日本語で一生懸命話しかけてくれました。

<サイアム博物館訪問>

時間：11時～12時

場所：サイアム博物館



「タイ国がどのようにしてできたのか」をテーマに、タイ人とタイ国のルーツを見て・触って・体験しながら勉強できるサイアム博物館では、タイ人学生とともにグループで見学しました。展示室の中には様々な仕掛けがあり、高校生たちは触って楽しみながらタイの歴史や文化などについて勉強することができました。

アンケートには、「タイ人が日常で見ている風景をわかりやすく説明してくれて、国民の生活をより深く知ることが出来た。」等の感想がありました。



<バンコク都副事務次官表敬訪問>

時間：15時～15時30分

場所：バンコク都庁

内容：バンコク都副事務次官挨拶、愛知県国際監挨拶、愛知県高校生代表挨拶、
記念品交換、記念撮影

～バンコク都副事務次官挨拶～

愛知県の高校生訪問団のみなさんにお会いでき、嬉しく思います。今回のプログラムでは、マッタヨム・ワットスッターラーム高校訪問やホームステイなどをしていると聞いていますので、是非充実した日々を送っていただきたいと思います。また、明日の歓迎夕食会で会えることを楽しみにしています。

バンコク都と愛知県は継続して若者の相互派遣をしているということで、今後も是非継続していければと思っています。



直前になって表敬訪問の相手が変わるハプニングもありましたが、立候補してくれた西さんが堂々と代表あいさつをしてくれました。

その後、全員タイ語で自己紹介をし、副事務次官から、「タイ語のあいさつで感動した。」と言っていました。





表敬訪問の後は、貸切船でアジアティーク・ザ・リバーフロントへ。チャオプラヤ川のクルーズも、広大なナイトマーケット、アジアティークも大いに楽しみました。



3日目：8月3日（金）

＜マッタヨム・ワットスッターラーム高校訪問＞

時間：8時30分～14時

場所：マッタヨム・ワットスッターラーム高校

相手方：パーンシリ・サウワディー校長 他

内容：歓迎式典、授業体験

【歓迎】



高校に着くと、大勢の生徒が外に並び、国旗を振って出迎えてくれました。同時に歓迎の音楽も始まり、高校生たちは驚きながらも感激して学校の中へ向かいました。

まずは歓迎式典が行われ、タイ側の代表生徒からのプログラム紹介、お坊さんのあいさつの後、タイ舞踊を鑑賞しました。



【授業体験 1 時間目：灯籠づくりとロイカトーン祭り】



ロイカトーン祭りで使う灯籠（カトーン）を作り、その後ロイカトーン祭りでされる歌と踊りを習って、タイ人高校生と輪になって踊りました。

【授業体験 2 時間目：ムエタイ】



タイの高校生
生のデモンス
トレーション
の後、グローブ
等を身に着け、
ムエタイの体
験をしました。



【授業体験 3 時間目：ござ作り】



色付けされたイグサを用いて、タイ
式のカラフルなござを織る体験をし
ました。高校生たちは6か所に分か
れて体験しましたが、それぞれ模様や色
合いが異なっており、タイの高校生が
使う色や織り方を熱心に教えてくれ
ました。

【おりがみ体験】



最後に、愛知県の高校生からのお礼として、折り紙体験教室を開きました。各高校生が2人のバディに自分が練習してきたものや、折れるものを教えて一緒に作りました。手裏剣や鶴、紙飛行機などを作ることができ、タイの高校生たちにも喜んでもらえたのではないかと思います。



【お別れ】



マッタヨム・ワットスッターラーム高校では、日本語を学んでいる高校生を中心に、多くの高校生が協力してくれ、タイの学校生活や、様々なタイの文化を学ぶことができました。一日中お世話をしてくれたバディの高校生とは連絡先を交換でき、さっそくやりとりを始めた参加者もいました。

アンケートには、「タイのダンスやムエタイなどは現地へ行ってもなかなか出来ないことなので楽しかったです。タイの友達もできたので嬉しかったです。」「大歓迎に驚きました。案内してくれた子達と仲良くなれたので、是非連絡を取り続けたいと思います。」「タイのダンスやムエタイなどの伝統的なことを教えていただき、嬉しかったです。また、バディの子たちとすごく仲良くなれて、別れがとても寂しかったです。」といった感想がありました。

4・5日目：8月4日（土）～5日（日）

<ホームステイ>

| 高校生 | ホストファミリー |
|--------|------------------------|
| 澤田 真優 | ピムナリー・シームアン氏 |
| 山田 咲穂 | チャットウポーン・ナンタユ氏 |
| 杉本 明紀 | ペーミカー・ペンスック氏 |
| 坂野 徳秀 | ナーリーラット・パークプーム氏 |
| 西 胡桃 | チャイタワット・ローハプラディッタコーン氏 |
| 後藤 駿介 | オラモン・バンティッスクマーン氏 |
| 山本 野乃華 | ノンヤウ・ヌーラット氏 |
| 小林 梨紗 | ソムポン・チュムチューチャン氏 |
| 恒川 隼 | スダーラット・スッサワート氏 |
| 澤口 茉弥 | スパリック・シリチャールクン氏 |
| 黒田 梨華 | チットソーパー・コンバムペン氏 |
| 堤 柚葉 | スパークワディー・ボーリブーンナーンクーン氏 |
| 阿部 汐里 | サウワラック・ブンナロン氏 |



8月3日（3日目）の夜には、歓迎会兼ホストファミリーとの顔合わせ夕食会があり、杉本さんがあいさつしました。

前日に表敬訪問したバンルー副事務次官が名誉ホストとして参加してくださいました。



～ホームステイの様子～

● シームアン家（澤田 真優）



● ナンタユ家（山田 咲穂）



● ペンスック家（杉本 明紀）



● パークプーム家（坂野 徳秀）



● ローハプラディッタコーン家 (西 胡桃)



● バンティスクマーン家 (後藤 駿介)



● ヌーラット家 (山本 野乃華)



● チュムチューチャン家 (小林 梨紗)



● スッサワート家 (恒川 隼)



● シリチャールクン家 (澤口 茉弥)



●コンバムペン家 (黒田 梨華)



●ポーリブーンナーンクーン家 (堤 柚葉)



●ブンナロン家 (阿部 汐里)



ホームステイは、昨年まで基本的に2人1組で行っていましたが、今年度は13家庭に一人ずつ受け入れていただきました。初めての一人行動ということで、行く前は不安がる高校生もいましたが、どの家庭でも大歓迎して様々なプログラムを用意してくださっており、とても満足した様子でホテルへ戻ってきました。ホームステイでは、バンコクや近郊都市の観光地訪問、水上マーケットを始めとする市場散策、ゾウ乗り体験といった一般的な活動から、職場のテレビ局や空母に入れていただいた事例や、蛍を見に行った事例もありました。そして、帰着後のホテルのロビーでも、別れを惜しみ連絡先を交換する様子が見られました。派遣者全員がホストファミリーとの絆を築くことができましたようです。

アンケートでは、「初日は一人が寂しかったが、ホストファミリーとの別れはそれより寂しかった。」「様々な場所に連れてってもらったり、たくさんお土産をもらったり一番の思い出になりました。」「一番苦労したけれど一番楽しかったです。一番タイ文化を感じる事が出来たかなと思います。」「ホストファミリーはみんなとても優しく、私と本当の家族のように接してくれたので、本当に嬉しかったです。」といった感想が寄せられました。

6日目：8月6日（月）

<ナワミンタラーティラート大学訪問>

時間：9時～10時30分

場所：ナワミンタラーティラート大学

相手方：アナン・マノーマイピブーン学長 他

内容：歓迎式典、校内見学



大学では、まず学長以下皆様による歓迎式典が行われました。初めて見る会議セットに緊張しながら、慣れてきたタイ語で自己紹介をしました。

その後病院内の実習室に移動し、顕微鏡でウイルス等を観察したり、スキルラボで実習器具を触らせてもらったりしました。



<ダイワカセイ・タイランド プラチンブリ工場訪問>

時間：13時～16時

場所：ダイワカセイ・タイランド プラチンブリ工場

内容：会社概要説明、工場見学、質疑応答

まず、ダイワカセイ・タイランドのご厚意により、社員食堂で社員の皆さんが普段食べているメニューを食べさせていただきました。

会議室に移動して企業の概要や社会貢献活動などについて説明を受けた後、工場内を見学しました。工場では、プラスチックを高温で加圧して製品を作る様子や、新たな機械の導入などによるカイゼン、製品の質を高めるための厳しいチェック機能などを説明していただきました。

見学後の質疑応答には、若手社員の方にも来ていただき、海外で働くことについてより具体的にイメージできたのではないかと思います。



7日目：8月7日（火）

<帰国>

大きなトラブルもなく、全員元気に帰国することができました。

アンケートでは、「この経験は私の人生の岐路になり、これからの進路がガラリと変わるきっかけになると思います。」「出発前は、日本とはかなり異なる文化に不安を感じていましたが、非常に快適で、日本より優れている点がたくさんありました。」「タイについても関心が高まり、もう一度タイに行きたくなったし、一緒に行ったメンバーや現地の高校生やホストファミリーと仲を深める事が出来てとても嬉しいです。」「とってもハードなスケジュールでしたが1日1日がとても濃い時間を過ごすことが出来ました。」等の感想が寄せられました。

この派遣事業を通じて、派遣者全員が大きく成長できたとともに、ホストファミリーやタイの新たな友人、派遣者同士と、かけがえのない絆を作ることができたのではないかと思います。

4 派遣高校生報告書

| | 学校名 | 氏名 | ページ |
|----|---------|--------------------|-----|
| 1 | 千種高等学校 | さわだ まゆ 澤田 真優 | 19 |
| 2 | 中村高等学校 | やまだ さこ 山田 咲穂 | 23 |
| 3 | 瀬戸西高等学校 | すぎもと みのり 杉本 明紀 | 31 |
| 4 | 尾北高等学校 | ばんの のりひで 坂野 徳秀 | 37 |
| 5 | 一宮西高等学校 | にし くるみ 西 胡桃 | 43 |
| 6 | 津島高等学校 | ごとう しゅんすけ 後藤 駿介 | 47 |
| 7 | 常滑高等学校 | やまもと ののか 山本 野乃華 | 53 |
| 8 | 豊田北高等学校 | こばやし りさ 小林 梨紗 | 56 |
| 9 | 西尾高等学校 | つねかわ しゅん 恒川 隼 | 60 |
| 10 | 刈谷北高等学校 | さわぐち まや 澤口 茉弥 | 63 |
| 11 | 安城東高等学校 | くろだ りんか 黒田 梨華 | 66 |
| 12 | 豊橋東高等学校 | つつみ ゆずは 堤 柚葉 | 76 |
| 13 | 御津高等学校 | あべ しおり 阿部 汐里 | 84 |



Aichi-Bangkok High School Student Exchange Program 2018

Mayu Sawada
愛知県立千種高等学校 澤田真優

★初めての「タイ王国」

一度は訪れてみたいと感じていた「タイ王国」。
その首都バンコクは、美しい寺院や文化財が多く、黄金ピカピカで活気あふれる大都市でした。
私は、今回、英語力向上は勿論のこと、バンコクの魅力、またその魅力の裏に隠れている場面
をも学び、都市を自分の目で見て、聞いて、そしてバンコクでしか出来ない体験をしたいと強く
思いこの派遣事業に参加しました。

★ホームステイ～最高のホストファミリー～

私は過去にホームステイの経験がありますが、
英語が公用語ではない国でのホームステイは
初めてなので、最初は少し不安もありました。
しかし、ホストファミリーは私を家族の一員として
迎えてくれました。

ホストファーザーもマザーも英語を話せたので、
たくさんのお話をすることができました。



私に二階にある一部屋を与えてくれました。
家族はfather, mother, brother, sisterです。



船に乗って
「水上マーケット」へ



日本のお菓子とは色使いが全く違い、派手やかな印象を与え、見ているだけでも楽しめるスイーツがたくさん売られていました。



私は一月生まれです。
これは一月の象です。
一緒に写真を撮りました。



たくさんのお菓子を買っていただきましたが、私の中のベストは「フォン・トーン」でした。サクッとした中にほんのり甘さがあり、とても軽い感じの上品なお菓子でした。
(フォン・トーン...金(ゴールド)を意味し、縁起物として利用されることの多い卵黄でできたお菓子)

タイの物価は、日本と比べてかなり安いと感じました。雑貨は「王様を運ぶ重要な存在」と言われている「象」をモチーフとするものが多く、かつ原色を使った可愛い小物が多かったので私もたくさんのお土産を購入しました。とても楽しかったです。



車通りは日本と変わらず多く、トヨタ車がほとんどでした。バイクの台数は日本よりもかなり多かったです。

車で「アユタヤ」へ



象にスティック状に切ったさつまいもをあげました。
象の鼻の先は、湿っていて硬くてゴツゴツでした。

駐車場に車を停めたら目の前に象がいました！
日本ではあり得ない...びっくりです。



バンコクでは(アユタヤでは)
池のコイに哺乳ビンで
ミルクをあげます...
たくさんのコイが我先にと
哺乳ビンのとりあいでした。
私にとって忘れられない
光景となりました。



日本とタイの食生活は大きく違うと実感しました。
全体的にスパイシーな物が多く、辛い物が得意ではない私に、ホストファーザーはロブスターをたくさんオーダーしてくれました。
ロブスターはプリプリでとても美味しかったです。
ホストファーザーの食べ方を見て、私も手で食べました。



象のテールでできた指輪を買ってもらいました。
「悪いものを追い払ってくれる」魔力があるそうです。

「You are my family.」この一言は本当に嬉しかったです。

★最後に

以前 私は

親子留学で訪れたセブ島をイメージし、キラびやかな大都市の裏には経済的な不平等や人種差別、子どもの貧困、また環境面や衛生面など日本とはかけ離れたものがあるのではとイメージしていました。

しかし、今回のこの派遣事業では感じとることが出来ず、その点については学んでくる事が出来ませんでした。

私はこの7日間を通して、タイの様々な風習や生活を知ることができ、たくさんの温かい人たちに出会うことが出来ました。また、食や文化が違っても住んでいる人々の最高の生活はそこにあると学びました。

短い期間でしたが、今回ここで得た貴重な経験を忘れることなく、これからの将来に活かしていけるよう 視野を広げ何事にも前向きに取り組んでいきます。



この「愛知県バンコク都高校生交流事業」に参加できたことにとっても感謝します。
本当に有難うございました。